

2026年5月

【1分解説】こどもNISAとは？

経済調査部 シニアエグゼクティブエコノミスト 新家 義貴

こどもNISAとは、18歳未満の子ども名義で利用できる新しいNISA(少額投資非課税制度)の通称で、2027年1月からの開始が予定されています。現行NISAは18歳以上が対象ですが、こどもNISAでは0~17歳も非課税で長期・積立投資を行えるようになります。

年間の投資枠は60万円、非課税で持てる上限は600万円が予定されています。対象商品は、現行NISAのつみたて投資枠に近い長期・積立向けの投資信託が中心で、個別株を自由に売買する制度ではありません。教育資金や成人後の資金を、早い段階から準備しやすくすることが狙いです。インフレで教育費や生活費が上がる局面では、預貯金以外の資産運用を組み合わせる意味も大きくなります。

旧ジュニアNISAは2023年末で終了しましたが、制度の分かりにくさや払い出し制限などが使い勝手の悪さとして指摘されていました。こどもNISAでは、より積立投資に特化しつつ、12歳以降は条件付きで払い出しが可能になる見込みです。また、18歳になると通常のNISAへ引き継がれる予定のため、子どもの成長に合わせて運用を続けやすい仕組みです。

こどもNISAは「貯蓄から投資へ」を子育て世帯や若年世代に広げる政策です。預貯金だけでは資産が増えにくい時代に、子どもの将来に向けた長期の資産形成を支える制度といえます。